

2017年5月17日

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社KMO

全長 50m にもおよぶポピュラーミュージック大年表や、選りすぐりのレコードジャケット約 5 千点を展示

KNOWLEDGE CAPITAL



『世界を変えたレコード展』

レコードコレクションからたどるポピュラーミュージックの歴史

開催日： 2017年6月21日(水)～7月23日(日)

場所： グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル イベントラボ

主催： 一般社団法人ナレッジキャピタル・K.I.T.金沢工業大学・読売新聞社

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原 秀夫)
および株式会社 KMO(代表取締役:小田島 秀俊)は、2017年
6月21日(水)～7月23日(日)までの期間、ナレッジキャピタル
「イベントラボ」において、『世界を変えたレコード展』を開催しま
す。

本展覧会は、レコードが持つジャケットの芸術性、そしてその
技術や文化に価値を見出し開設した「金沢工業大学 ポピュラ
ー・ミュージック・コレクション(通称PMC)*」が25年をかけて収
集した24万枚を超えるレコードの中から、選りすぐりのレコード
ジャケット約5千点を展示するほか、全長50mにもおよぶタイポ
グラフィによるポピュラーミュージック大年表やインスタレーショ
ン・ブースを設け、ポピュラーミュージックがいかに世界を変えて
きたのかを、実感することができます。

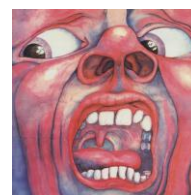
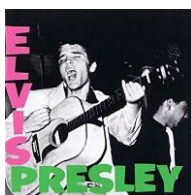
今、「レコード」は、かつての愛好家のみならず、若い世代の
アーティストたちの間でも注目を集めています。

そんな中、デジタル時代に生まれ、レコードを知らない金沢工
業大学で建築を学ぶ学生たちが、プロデューサーである立川直
樹氏監修のもと、現代の視点で膨大なコレクションを編集・構成
し、「ポピュラー・ミュージック」の魅力をさまざまな角度から紹介
します。



レコードコレクションから「ポピュラー・ミュージック」の歴史をたどることにより、20世紀という時代がいかに創造的で
あったかを見直すきっかけになることでしょう。未来につながるまだ見ぬ夢の旅を一緒にお楽しみください。

*金沢工業大学 PMCは、プロデューサー立川直樹氏から1万7千点におよぶレコードの寄贈を受けて1992年にスタートしました。



※展示レコード一例(予定)

①開催概要

タイトル：『世界を変えたレコード展』レコードコレクションからたどるポピュラーミュージックの歴史
日程：2017年6月21日(水)～7月23日(日) ※会期中無休
午前11時～午後7時まで(入場は閉場の30分前まで)
会場：グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル イベントラボ
料金：入場無料
主催：一般社団法人ナレッジキャピタル、K.I.T.金沢工業大学、読売新聞社
後援：FM COCOLO/FM802、株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント、株式会社TSUTAYA、
一般社団法人日本レコード協会
協力：西日本旅客鉄道株式会社
監修：立川直樹
会場構成/展示デザイン：金沢工業大学環境・建築学部 宮下智裕研究室
制作協力：響映、ナカダ
制作：ハクシオン

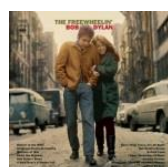
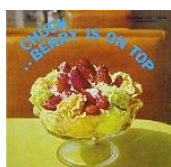
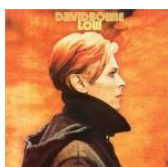
②展示内容

Track1: [プロローグ]

「20世紀の最大のカルチャーはロックン・ロールだ」と言ったのは写真家として初めて“ロックの殿堂”入りを果たしたボブ・グルエンだった。ミュージシャンとして初めてノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランについて、「ボブ・ディランほど世界の同世代の若者に影響を与えた作家はいるだろうか」という名言を口にしたのは、フランスのシンガーソングライターで作家でもあるイヴ・シモン。

1枚のレコード盤に刻まれた「ポピュラーミュージック」は、多くのアーティストの感性を刺激し、たくさんのアーティストたちが影響を受け、それぞれのクリエイションにつなげていきました。

ここではアーティストたちのメッセージのほんの一部を紹介するなかから、レコードの魅力に迫ります。



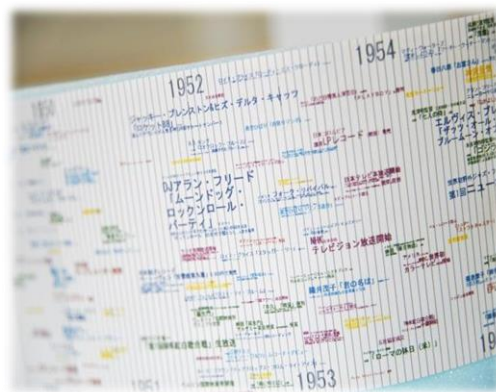
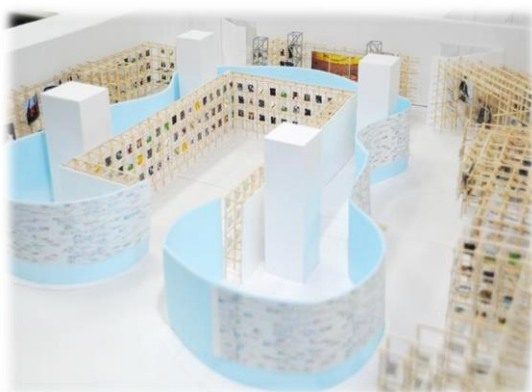
※展示レコード一例(予定)

Track2: [ミュージック・クロニクル (年表とインスタレーション)]

<ポピュラーミュージック大年表>

全長50mにも及ぶタイポグラフィによるポピュラーミュージック大年表

歴史的な名盤のリリースはもちろん、蓄音機やレコード盤などに見る技術の目覚ましい発展、また映画やメディアを巻き込んで創造されたポピュラーミュージックの世界が、詳細にかつ整然と記されたいまだかつてないクロニクルです。

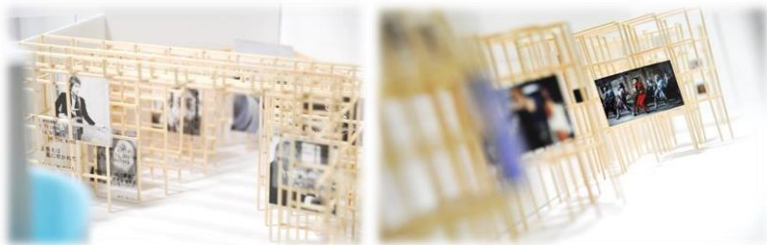


※展示イメージ

<インスタレーション・ブース>

ポピュラーミュージック史上特筆すべきできごと＝時代を象徴するようなレコードを中心に、雑誌・書籍など PMC が所蔵する膨大な資料も併せて紹介するインスタレーション・ブースです。時代のムードが感じられる7つのブースでは、大年表と重ねあわせることでポピュラーミュージックがいかに世界を変えてきたかのかを実感することができます。

- (ブース1) 1940年代 [アメリカ文化が世界へ]
- (ブース2) 1950年代 [ロックの誕生]
- (ブース3) 1960年代 [メッセージ、プロテスト・ソング]
- (ブース4) 1950年代～ [フェスティバル]
- (ブース5) 1970年代 [アート・ロック]
- (ブース6) 1980年代 [MTV]
- (ブース7) 1998年～ [モノから無形化へ]



※展示イメージ

Track 3: [レコード・ジャケット・アート・ギャラリー]

「アート」としてのレコードジャケットの魅力に迫り、選りすぐりのレコードジャケット約 150 点をご紹介します。



※展示イメージ

Track 4: [PMC(ポピュラー・ミュージック・コレクション)]

ここでは24万枚を超える金沢工業大学PMCの所蔵レコードから厳選したレコードストックとともに、PMCを再現した空間をつくります。また、約1500人にもおよぶ寄贈者の方々からPMCに寄せられた手紙の数々をご覧いただくことができます。そこから読み取れるのは、寄贈者のレコードや音楽に対する想いと惜別であり、それらを後世に残し、若い世代の役に立ててほしいという深い愛情です。



※展示イメージ

* 展示内容は多少変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

③金沢工業大学 ポピュラーミュージック・コレクション(PMC)とは

金沢工業大学PMCは、ポピュラーミュージックのレコードが培ってきた録音技術やさまざまな文化との関係を考察し、ジャケットの芸術性に触れることで、学生の感性を刺激する施設として開設されました。

プロデューサー立川直樹氏から1万7千点におよぶレコードの寄贈を受けて1992年にスタートしたものです。以来、全国の愛好家からの寄贈が相次ぎ、所蔵枚数は現在24万枚を超えるに至りました。2006年には、我が国の音楽評論の草分けとして活躍された故福田一郎氏のおよそ5万5千枚のレコード等をはじめとする音楽遺産が加わり、ポピュラーミュージックの総合アーカイブス、音楽ファンの聖地として知られます。



PMCに所蔵されているレコード

寄贈されたすべてのレコードはデータベース化し、アーティスト名や曲名、アルバム名など様々なキーワードで検索することができます。この検索システムLINKIT IIはインターネットで広く公開しています。鑑賞機材としてボディソニック(体感音響装置)を設置しており、ご自分のレコードやCD、ポータブル・オーディオ・プレイヤーを持ち込んで聴くこともできます。PMCは学生にとってのリラックスゾーンであるとともに、一般の方も利用できる施設です。

近年急速に見直されてきたレコード。音楽・音質はもちろん、ジャケットの芸術性が作品としての価値を高めていると言えるでしょう。アートを一般の世界に解放したことも記憶されるべき点です。PMCは開設から25年が経ち、その間一般来場者も対象とした数々の「ジャケット・アート展」を開催して大きな反響を獲得してきました。20世紀最大の文化ともいえるポピュラーミュージックをビジュアルで鮮やかに彩ってきたジャケットは、学生のイメージを膨らませ、創造に駆り立てます。そんな状況を見るにつけ、PMCの存在が今後ますます技術と文化の関係を問う契機になっていくように思われます。

■媒体別所蔵枚数 (2017年3月31日現在)

媒体	LP	EP	SP	CD	SCD	合計
所蔵枚数	166,619	32,176	2,518	31,554	9,114	241,981



■雑誌、書籍など

Billboard、Cash Boxをはじめとするチャート本、ミュージック・ライフやRockin' On、Rolling Stone、Melody Makerなど、国内外の音楽雑誌だけでなく、ペーパーバック、アーティスト自伝本なども所蔵。さらに、ボディソニック13台、レコードプレイヤー13台、CDプレイヤー13台他、レーザーターンテーブル、ジュークボックス、蓄音器なども所蔵。



PMCに所蔵されている雑誌や書籍

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

①ナレッジキャピタルに関するお問い合わせ

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当:入江・奥村 電話:06-6372-6427/FAX:06-6359-2970

※ナレッジキャピタルは、2013年4月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと、株式会社 KMO において運営しています。

②本イベントに関するお問い合わせ

金沢工業大学企画部 電話:076-246-4784 mail:koho@kanazawa-it.ac.jp

【施設概要】

施設名	ナレッジキャピタル	
所在地	〒530-0011大阪市北区大深町3-1グランフロント大阪 北館	
施設案内	The Lab. みんなで世界一研究所 (アクティブラボ・カフェラボ・イベントラボ)	地下1階～3階
	フューチャーライフショールーム	1階～6階
	ナレッジシアター	4階
	ナレッジサロン	7階
	コラボオフィス・コラボオフィスネクス	7階～8階
	カンファレンスルーム	8階・10階
	ナレッジオフィス	9階～13階
	コンベンションセンター	地下1階～地下2階
運営組織 代表者	一般社団法人ナレッジキャピタル 代表理事 宮原 秀夫 株式会社KMO 代表取締役 小田島 秀俊	
事業者 (五十音順)	NTT都市開発株式会社 株式会社大林組 オリックス不動産株式会社 関電不動産開発株式会社 新日鉄興和不動産株式会社 積水ハウス株式会社 株式会社竹中工務店 東京建物株式会社 日本土地建物株式会社 阪急電鉄株式会社 三菱地所株式会社	